

スポーツ・健康福祉研究部門

障害者・高齢者に対する健康福祉支援 ーインクルーシブ・スポーツモデルの構築ー

1. 呉市との共同による地域住民に対する高齢者 1000 名を対象としたアンケート調査の実施 目 的:

健康増進のための運動介入を必要とする高齢者の社会的特徴を明らかにする。

対象者:

この社会調査は、呉市地区在住の中高年者を対象として、呉市文化スポーツ部スポーツ振興課と共同で行った「高齢者の健康に関する調査」である。呉市全域の自治会約 100 人の班長に依頼し、各班長が中高年者 10 人にアンケートを配布する方法により実施した。配布総数 1020 部、回収 982 部(回収率 96.3%)であった。

調査内容:

アンケートは、基本調査(年齢、性別、運動習慣、世帯構成など)、及び健康に関連した QOL 調査であった。QOL 調査は、Medical Outcome Study 36-Item Short-Form Health Survey (SF-36v2) 日本版を使用した。

2. 高齢者を対象としたインクルーシブ・スポーツカフェの実施 目 的:

高齢者が大学生と共にボッチャを実施することによる身体的・精神的影響を明らかにする。

対象者:

坂町自治会を通して広報を行い、インクルーシブ・スポーツ実験への参加を申し出た中高齢者 10 名(男性 6 名、女性 4 名、平均年齢 70.6 歳±1.0 年)を対象とした。また、インクルーシブ・スポーツ及びカフェ実施の際には、支援者育成を目的として、本学学生(男性 2 名、女性 4 名、平均年齢 20.0 歳±1.6 年)を参加させた。

調査内容:

8 月 10、21、31 日、及び 9 月 7 日の計 4 回、インクルーシブ・スポーツカフェとして、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を行った。運動前後の気分を Profile of Mood States 2nd Edition 日本語短縮版(POMS2)を用いて調査した。また、自律神経バランスの変化を測定するため、唾液アミラーゼモニター(ニプロ社製・乾式臨床化学分析装置)、及び自律神経バランス分析加速度脈波測定器(TAS9VIEW)を用いた。期間全体の健康調査として、基本調査(年齢、性別、運動習慣、世帯構成など)、活動量測定、及び健康に関連した QOL 調査を行った。活動量測定には Actical Z 32M を使用し、QOL 調査には SF-36v2 日本版を使用した。

3. HBG 重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」の実施

今年度の開催日、場所、及び参加者数は表一1 に示す通りである。開催時間は 9:00～12:00 であった。最重度の障害がある子供の身体に直接触れて支援できる専門性の高いボランティア支援者の育成を図るため、定期的に毎月 1 回(主に第四土曜日)の運動・スポーツ教室を開催したり、勉強会を行ったりして技術の向上に努めてきた。第1回目を 2017 年4月 22 日に

これまで通り広島市心身障害者福祉センターで実施した。5月からは、広島文化学園大学広島坂キャンパスの協力を得て毎月1回の活動場所を大学の4F・健康福祉ホールに移し、最重度の障害を有する子供が楽しめるスポーツ実践の実施と、子供達を支援できる対人援助の専門家の育成に努めながら地域に貢献してきた。

表一1 開催日、場所、及び参加者数

開催日	場所	参加者(人)		
		子供	ボランティア	
			一般	学生
平成 29 年4月 22 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	10	17	1
平成 29 年5月 27 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	6	13	15
平成 29 年6月 24 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	9	19	7
平成 29 年7月 29 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	8	12	4
平成 29 年8月 9 日(水)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	9	5	5
平成 29 年8月 16 日(水)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	6	9	5
平成 29 年8月 22 日(火)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	5	3	3
平成 29 年8月 26 日(土)	広島市心身障害者福祉センター・プール	7	11	1
平成 29 年9月 16 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	7	7	1
平成 29 年 10 月 21 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	11	14	5
平成 29 年 11 月 25 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	8	15	7
平成 29 年 12 月 23 日(土)	広島坂キャンパス・健康福祉ホール	8	15	7

また、平成 29 年 12 月 23 日(土)に、「坂カフェ」として「クリスマス昼食会」を実施した。食事中、子供と保護者、ボランティア支援者、及び学生間で HBG はなまるキッズの活動について、日頃の学校での様子、冬休みの予定等が話題にあげられ、交流が深められた。最後には、参加した学生が参加して学んだこと等の感想を発表した(写真①)。

写真①学生による感想の発表

